

令和2年度山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会

令和2年9月26日

ただいまご紹介にあずかりました、島根県知事の丸山でございます。

本日は、令和2年度の山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会が多くの皆様のご出席のもと、また、コロナ禍の中で感染防止対策を万全に尽くしていただいた上で、このように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

今回の開催にあたり大変なご尽力をいただきました大田市の楫野市長をはじめ、大田市の地元の皆様に心から感謝を申し上げる次第でございます。

先程来お話がございますとおり、この山陰自動車道、島根の東西を貫く背骨であり、そして、益田以西に目を向けますと、九州圏を身近にしていくために欠かせない、山陰にとりまして大事な大事な道路でございます。

このコロナの影響を受けまして、実は距離が遠いということが、遠隔、5Gですとか通信を使ってあまり障害がなくなってきた、リモートなんかと、色んな話が出てきます。

我々が危惧しないといけないのは、情報が離れていても行き来できるということと、人と物の動きは別だということであります。通信がいかに発達しようとも、遠くで早く動けるのは情報とか音声とか映像に過ぎません。

実際には、最後の最後は物が動かなければ、人が動かなければ、いわゆるeコマースのもの、ウェブ上で買った物も、物が来なければ完結はしないわけであります。そのために実際の道路なり、社会インフラが整備の重要性は相変わらず変わらない。距離の問題が情報の面で少し改善してくることと、実際に我々が生活していく上で移動しなければならない、救急車で運んでもらわなければならない、物を外に出していかななければならない。

そういったことで必要となる山陰道の重要性というのは変わらない。または逆に社会的風潮で軽視されないように我々が声をあげて、きちんとこれまでご尽力をいただいております地元国会議員の先生方、また本日もご臨席いただいております小平局長をはじめ、中国地方整備局をはじめとする国土交通省の皆様方にこの重要性を引き続き認識していただいて、我々がそれをきちんとバックアップしていくということの重要性はより増しているというふうに思っているところでございます。

そういった意味で本日もご出席をいただいております、また、日頃から山陰道の建設に並々ならぬご尽力をいただいております皆様方に引き続きまして、山陰にとって、島根にとって欠かせない道路の早期に事業化箇所、事業中箇所を早期に完成し、そしてまた、事業化に至っていない益田以西を中心とする未事業化区間の新規事業化を進めていただくということを今日からまた更に力を込めて取り組んでいかななければならないというふうに思っているところでございます。

また、そういった形で引き続き本日もご出席の皆様方には引き続きまして山陰道の建設に力強いご支援を賜りますようお願いを申し上げ、また、これまでご尽力いただいております多くの皆様に感謝を申し上げまして、本日の盛会のお祝いのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。